

第9回日中韓観光大臣会合共同宣言

日本国、中華人民共和国、大韓民国の観光大臣は2019年8月30日、仁川広域市で「観光を通じた北東アジア地域の平和促進」、「観光を通じた北東アジア地域の包摂的成長実現」、「観光を通じた北東アジア地域の未来先導」という議題の下、第9回日中韓観光大臣会合を開催した。

本会議では、これまで8回の観光大臣会合を通じて合意した共同理念を基に、3国間の観光協力を拡大、強化するための実質的方策を模索した。特に長期的な観点から、日中韓3国間の観光協力を通じて北東アジア地域の平和を促進し、包摂的成長を実現する一方、観光を通じて北東アジア地域の未来を先導するためのビジョンを提示し、これを実現するための具体的協力案について合意した。

また、日中韓の観光大臣が合意した内容が実質的な実を結ぶことにつながるよう、第9回日中韓観光大臣会議の付随行事として開催された「日中韓地域観光ジョイント事業」および「日中韓観光未来世代フォーラム」を歓迎すると共に、今後も日中韓観光協力を促進していくための取組を持続的に推進していくことで合意した。

日中韓3国は観光協力の重要性に対する認識を基に、協力と共生の関係を通じ発展的な未来を切り開いていく。

そのために3国が合意した観光協力案は次の通りである。

1. 観光を通じた北東アジア地域の平和促進

- (1) 日中韓3国は、観光が経済発展はもとより国際社会の平和と繁栄に貢献できるように、相互互惠と協力の精神を強固にし、戦略的で体系的な協力体制を構築する。
- 2) 3国は第7回日中韓観光大臣会合で掲げた3000万人の目標を既に達成し、その上で、日中韓国民の相互信頼を深める活発な観光交流を推進する。

- (3) また、日中韓3国間の確固たる観光協力を通じて北東アジアの平和を促進し、国際社会の平和と繁栄に貢献することに合意し、そのために域外観光市場誘致を促進するための協力ネットワークを構築し、Visit East Asia Campaignの持続的な推進等を通じ、協力事業を行う。
- (4) 特に2018~2022年の日中韓3国のスポーツメイベント開催を契機に、スポーツ交流協力強化を通じて域外市場を対象に日中韓の連携観光商品の開発と共同広報マーケティングを積極的に推進することで、北東アジア地域を全世界の「平和およびスポーツ観光の拠点」として育成する。

2. 観光を通じた北東アジア地域の包摂的成長実現

- (1) 日中韓3国は、障害者、高齢者、乳幼児同伴家族、妊婦などの旅行者にとっては、依然として旅行がしやすい状況であるという点で一致し、誰もが安心して楽しむことのできる旅行環境整備に向けて共同で努力し、そのための政策および優秀事例を共有する。
- (2) 3国の地方の観光活性化のために韓国ではじめて開催された「日中韓3国地域観光ジョイント事業」を歓迎し、地域観光の活性化のための努力を持続的に行う。
- (3) また、日中韓3国の地方観光地間の円滑な交流のために、地方航空路線の拡大、地方空港出入国時の利便性向上、クルーズ船の就航拡大等、観光インフラ拡充のための努力を強化する。
- (4) 日中韓3国は、観光産業の持続可能な発展を図るためには観光産業の中核人材の育成を通じて良質な雇用を創出しなければならないという点で一致し、そのために観光専門人材育成の優良事例を共有し、青年層の観光人材育成のための交流協力を強化する。
- (5) また、観光が経済的成長だけでなく、社会的成長にも貢献し持続可能な発展が実現するように公正な観光取引環境作りを通じて観光産業の相互成長のために協力する一方、消費者の保護及びオーバーツーリズム問題対応と関連した優良事例を共有する。

3. 観光を通じた北東アジア地域の未来先導

- (1) 日中韓3国は、第4次産業革命と呼ばれる最近の「新技術」発展と「観光」との融合は観光発展のための新しいチャンスになるという点で一致し、日中韓3国間「新技術+観光」融合モデルの発掘および観光ビッグデータの分析事例を互いに共有する。
- (2) また、観光ベンチャー企業など観光産業に参入する新ビジネスモデルに関する情報を共有し、観光産業を拡大させ競争力を強化するために共同で努力する。
- (3) さらに3国間の観光革新が増大されるよう観光ベンチャー企業間の交流を促進する一方、第4次産業革命に備えた観光ベンチャー企業の育成策、観光分野の新規職種育成などに対する情報を共有する。
- (4) 日中韓3国は、3国間の観光交流促進を図るために、観光と情報通信技術(ICT)の融合を通じた旅行者サービスの高度化を推進すべきだという点で一致し、そのためにスマート観光環境作りを通じた観光旅行の利便性向上のための3国間の協力を強化する。
- (5) 日中韓3国は、3国間の観光協力を強固にし、持続的な観光発展のためには観光未来世代の育成が最優先課題の一つだという点で一致し、今年韓国で実施した「日中韓未来世代フォーラム」を歓迎し、日中韓の観光未来世代の交流を促進するための努力を持続的に行う。
- (6) さらに、観光未来世代の交流促進のための観光関連教育及び研究機関間の交流を促進し、それを通じて3国間で観光研究成果及び情報が共有できるよう、3国の観光当局が積極的に協力する。

4. その他

- (1) 日中韓3国は、各国の観光当局実務者間で第9回仁川宣言合意事項の優良事例を共有し、観光大臣会合を通じて形成されたコンセンサスを基に観光協力の持続的発展を図る。
- (2) 3国は日中韓間の観光協力促進に向け、日中韓協力事務局(TCS)との協力関係を強化する。

(3) 3国は観光客の安全と関連した情報を透明に公開する。

(4) 3国は観光と文化の融合発展という時代の流れに沿った韓国の日中韓観光大臣会合及び文化大臣会合の連携のための努力を歓迎する。

(5) 3国は2020年日本において、「第10回日中韓観光大臣会合」を開催することで一致した。

本声明は、2019年8月30日大韓民国仁川広域市にて日本語、中国語及び韓国語で作成され、3種とも同等の効力を有する。

日本国

国土交通大臣

石井啓一

中華人民共和国

文化旅游部部長

雒树刚

大韓民国

文化体育観光部長官

朴亨宇